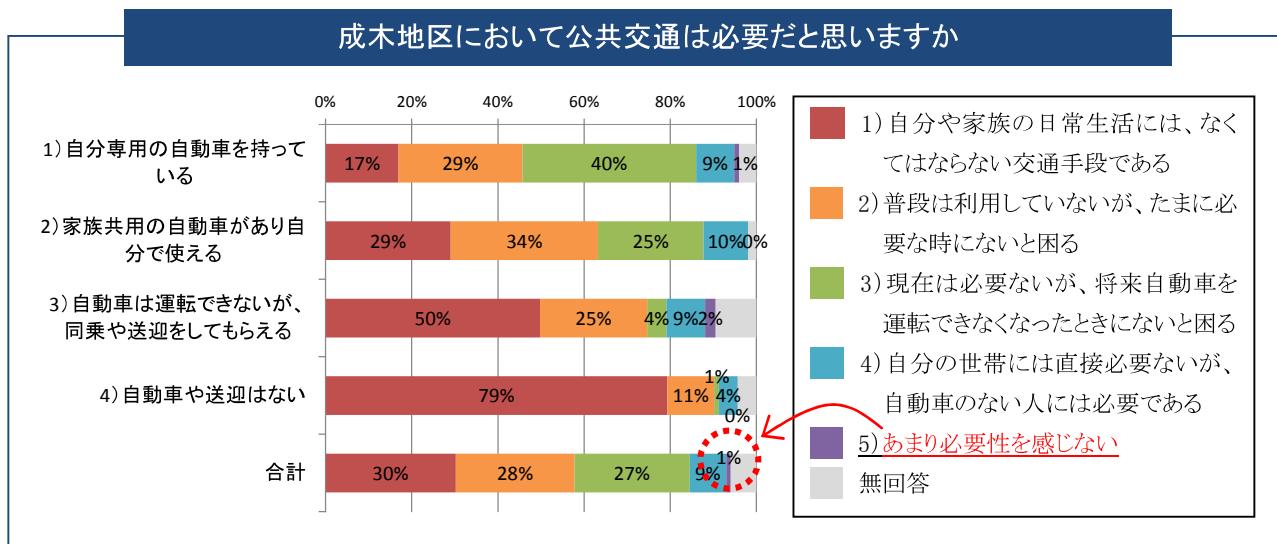


# 「成木地区公共交通案内」の配布について

「成木地区公共交通検討委員会」では、昨年7月に「成木地区の交通に関するアンケート」を実施しました。

このアンケートでは、成木地区の公共交通について「必要性を感じない」という方が、ほとんどみられない結果となりました。つまり、みなさんが公共交通に対して、  
何らかの必要性を感じているということがわかりました。



一方、バス利用者の減少は、クルマ社会の進展に伴って全国的にみられる現象です。利用者が減れば「赤字」が発生し、バス事業者は運行本数を少なくせざるを得なくなります。そして気がつけば、30分に1本のバスが、1時間に1本、2時間に1本となっていく路線が、全国的にも後を絶ちません。

成木地区のバス路線も例外ではありません。現在、市では梅74・梅76に対して年間6千万円を超える赤字補助を行っています。このままさらにお利用者が減少すると、成木地区における公共交通の維持や改善が困難になるおそれがあります。

もし、成木地区に公共交通がなくなってしまえば、どのようにになってしまうでしょうか。御高齢になってクルマを使えなくなれば、とても外出しづらくなるかもしれません。地域を訪れる人々は、今より少なくなってしまうかもしれません。そうなる前に、公共交通を使うことについて、少し考えてみませんか。

市では、成木地区公共交通検討委員会と連携し、成木地区における公共交通のあり方について検討しています。公共交通を持続可能なものとするには、皆さんに利用していただくことが大切です。このため、「成木地区公共交通案内」を作成しました。

バスを利用できる外出があるときに、月に1回でもかまいません。

この案内を見ながら、天気の良い日に、たまには気分を変えて、バスや鉄道を使って、出かけてみてはいかがでしょうか。

～乗って守ろう！  
使って育てよう！  
公共交通～

【公共交通に関する御意見・お問い合わせ】

青梅市 まちづくり経済部まちづくり推進課

電話 0428-22-1111 内線 2538

電子メール div2020@city.ome.tokyo.jp

# 公共交通の効用

## 効用 1 公共交通は 地球環境 にやさしい

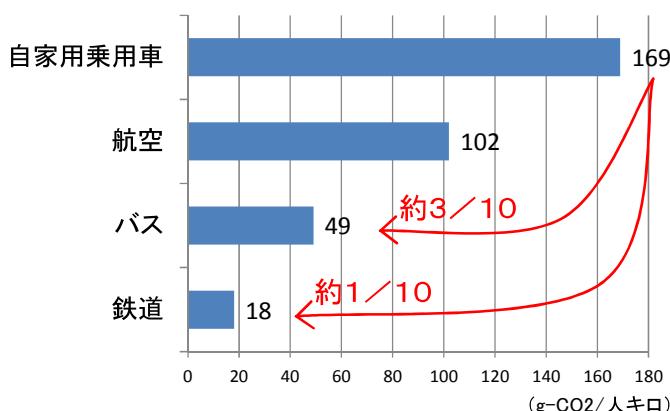
地球温暖化の原因になるのが二酸化炭素です。

1人を1km運ぶ際の二酸化炭素排出量は、

自家用乗用車と比べると、鉄道が約1/10、バスが約3/10と少ないのです。

だから、公共交通は地球環境にやさしいのです。

旅客輸送機関別の二酸化炭素排出原単位(2010年度)



出典:2013年版運輸・交通と環境  
監修 国土交通省  
発行 公益財団法人交通エコロジー  
・モビリティ財団

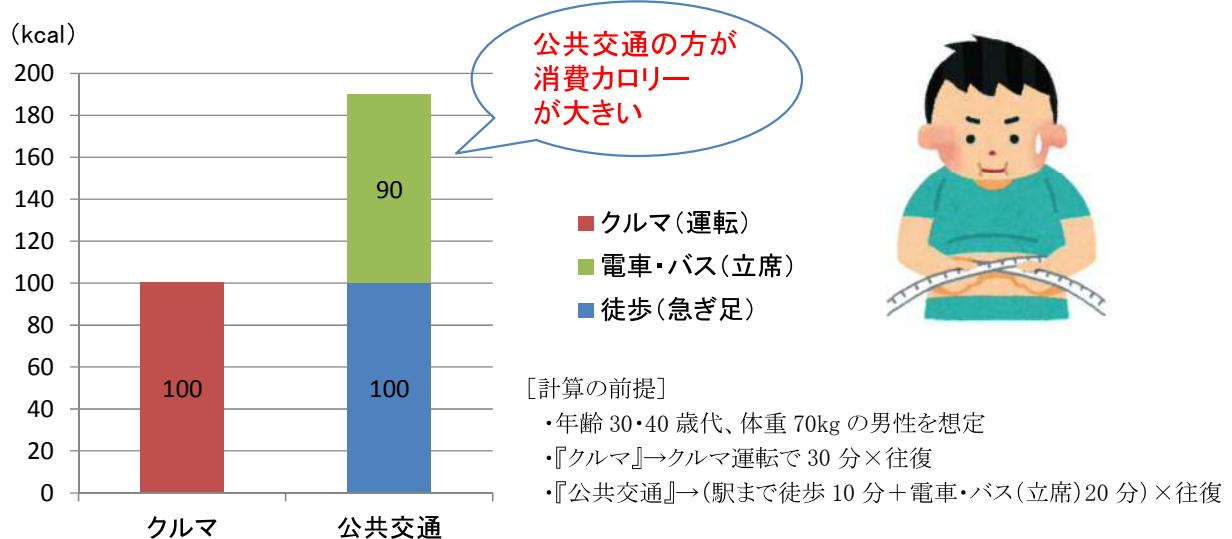
## 効用 2 公共交通は 健康 を増進

クルマは座ったままで楽ですが、そのぶん消費カロリーも小さいのです。

公共交通を使えば、消費カロリーは大きくなります。

だから、公共交通は運動不足の解消と健康増進に役立ちます。

片道30分を往復した場合の消費カロリー



資料:第6次改定日本人の栄養所要量(平成11年厚生省)

### 効用 3 公共交通は 気軽 で 快適

青梅警察署管内の交通事故（人身事故）は、年間700件以上（1日平均2件）発生しています。クルマの運転は慎重に、細心の注意を払いましょう。でも、公共交通を使えば、自分で運転する必要がありません。また、本を読んだり、メールをチェックしたり、いろいろなことをしながら快適に移動できます。



資料:警視庁の統計

※青梅警察署管内は、青梅市と奥多摩町をあわせた区域

このほかにも、公共交通を使うと、車内やバス停で交流が生まれたり、子どもたちが社会のルールを学ぶ場にもなります。そして何よりも、クルマを使えないお年寄りや学生さんの足である公共交通を、将来的に維持・継続していくために役立つのです。

#### [参考:成木地区の公共交通の現状]

##### ■成木地区の一日のバス利用者数

| 系 統   | 系統全体   | うち成木地区の利用者数                        |
|-------|--------|------------------------------------|
| 梅74系統 | 671人／日 | ・トンネル回りの便 103人／日<br>・小曾木回りの便 56人／日 |
| 梅76系統 | 135人／日 | ・東青梅駅方面の便 22人／日<br>・上成木方面の便 19人／日  |

平成24年3月27日(火)調査

##### ■都バス運行に対する市の補助金(平成25年度)

| 系 統   | 補助金         |
|-------|-------------|
| 梅74系統 | 年間 約3,353万円 |
| 梅76系統 | 年間 約3,120万円 |

## 成木地区の公共交通に関する取り組みについて

### ○ 改善に向けて検討しています

平成 26 年 4 月に、成木地区を運行する都営バスが大幅に減便となりました。

このため、成木地区では、各自治会長を中心に成木地区公共交通検討委員会を立ち上げました。平成 26 年 7 月には検討委員会でアンケートを実施し、成木地区の皆さんとの公共交通にかかる現状や御意見を把握いたしました。

市では、いただいた貴重な御意見を踏まえ、成木地区公共交通検討委員会の皆さんとともに、成木地区の公共交通を改善できるよう検討を進めています。

### ○ いっしょに考えてみませんか

公共交通は、クルマを利用できない方だけでなく、地域の維持・発展に欠くことができない存在です。また、今は必要なくても、将来必要になるかもしれません。しかし公共交通は、一度衰退してしまうと、改めて導入し直すことは大変難しく、今あるものを大切に維持していく必要があります。

公共交通については、道路や水道と同じように地域の生活基盤として考え、利用している人も利用していない人も、地域にお住いの皆さんに考えていただきたいことです。この機会に成木地区の公共交通について、いっしょに考えてみませんか。ぜひあなたの御意見を市に教えてください。

「成木地区公共交通案内」に関する感想（わかりづらい点や必要な情報など）や、公共交通を利用してみた感想、公共交通の維持・改善に向けて考えてみたことなど、どんな些細なことでも結構です。お待ちしています。

御意見・御感想などは 青梅市 まちづくり経済部 まちづくり推進課 まで

電話 0428-22-1111 内線2538

FAX 0428-22-3508

電子メール [div2020@city.ome.tokyo.jp](mailto:div2020@city.ome.tokyo.jp)

住所 〒198-8701 東京都青梅市東青梅 1-11-1

### ○ 少しだけでも利用しましょう

公共交通の現状維持は、もちろんのこと、改善・充実を図るためにも、公共交通を利用していただくことが、とても重要です。 クルマは大変便利な乗り物ですが、公共交通にも、ちょっとした効用があります。「成木地区公共交通案内」を御活用いただき、公共交通を少しだけでも利用してみませんか。